

waii での *Erythrina* の一般名 Wili Wili tree から来ている。戦後、八丈島のことを歌った“バーデビーデの歌”というのが一時流行したことを覚えている。

まだいろいろ他の例があるが、また別の機会にする。上記の学名は著者の現在の分類学的意見を現わしているものではないことをお断りします。(お茶の水女子大学)

○イソマツの学名について (原 寛) Hiroshi HARA: On the correct name for a purple-flowered race of *Limonium Wrightii*

本誌 21: 16 (1947) および日本種子植物集覧 1: 99 (1949) で、イソマツには淡紫花品と淡黄花品があり、分布を異にしているので別変種として扱うのがよいとの見解をのべた。その際には *Statice Wrightii* Hance の花色が不明であったので、紫花品を var. *roseum*, 黄花品 (ウコンイソマツ) を var. *luteum* と名付けておいた。

最近 E. H. Walker 博士から *Statice Wrightii* の複基準標本がワシントンの国立腊葉館にあり、それは黄花品であるので、現行命名国際規約上紫花品の学名を変更する必要があるので善処するようにとの親切な注意をうけた。

すなわち *Statice Wrightii* が黄花品であれば、ウコンイソマツの学名は命名規約により *Limonium Wrightii* var. *Wrightii* となる。一方紫花のイソマツには、var. *roseum* Hara が新しいタイプによる変種名ではなく *Statice Wrightii* を引用した名であり、後者が黄花品であることが分かったのでそれを使用できず、従って紫花品には次のように var. *arbusculum* (Maxim.) の新組合わせをつくるのが適当である。

Recently Dr. E. H. Walker of Washington, D. C. has kindly called my attention to the correct varietal name for a purple-flowered race of *Limonium Wrightii*. An isotype specimen (Loo-Choo, C. Wright) of *Statice Wrightii* preserved at the U.S. National Herbarium was now proved to have yellow flowers, so the following nomenclatural change is needed for a purple-flowered race.

Limonium Wrightii (Hance) O. Kuntze, Rev. Gen. Pl. 2: 395 (1891)-Hara, Enum. Spermat. Jap. 1: 99 (1949).

var. ***Wrightii***. ウコンイソマツ

Statice Wrightii Hance in Ann. Sci. Nat. ser. 5, 5: 236 (1866).

Limonium arbusculum var. *luteum* Hara in Journ. Jap. Bot. 21: 19 (1947).

L. Wrightii var. *luteum* (Hara) Hara, Enum. Spermat. Jap. 1: 99 (1949).

L. Wrightii var. *roseum* Hara, l. c. (1949).

var. ***arbusculum*** (Maxim.) Hara, comb. nov. イソマツ

S. arbuscula Maxim. in Trautv., Regel, Maxim. et Winkl., Decas Pl. Nov. 8 (1882).